

4 急速に進行するインフラ老朽化に呼応した適切な維持管理・更新の推進

● インフラを守る

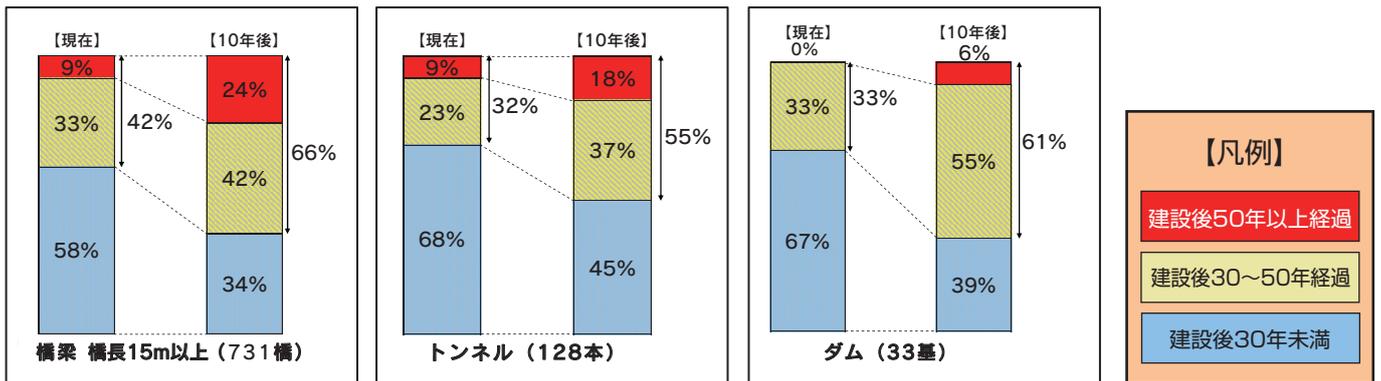
1 維持管理計画

問合せ先 建設企画課

定期点検で的確な保全措置を行う「予防保全的手法」を導入した維持管理計画に基づき、橋梁やトンネルなどのインフラの長寿命化を図り、次の世代に引き継ぎます。

これまでに整備した大量の公共土木施設等のストックも時代とともに老朽化し、維持・更新費が増大していくことが確実な見通しであります。限られた財源の中で、いかに本来の機能を維持し、長期に活用していくことが重要な課題となっています。

橋梁・トンネル・ダムに関する「現在」と「10年後」の建設経過年の比較



長崎県では、不具合が生じてからの補修ではなく、「**予防保全的手法**」を導入した効率的かつ計画的な維持補修を行うための維持管理計画の策定を平成25年度までに完了し、施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図り、次世代に社会資本を引き継ぎます。



橋梁の定期点検状況

「長崎県の維持管理計画」策定状況

対象施設	施設数量	計画策定状況(※)
橋梁	2,091橋	○ H19
道路斜面等	2,356箇所	○ H20
舗装	2,410km	○ H20
トンネル	128本 L=50.1km	○ H22
鋼構造物	218施設	○ H21
コンクリート構造物	1,974箇所	△ H25
海岸	382km	△ H26
護岸・堤防・水門・陸こう	376河川1,145km	○ H22
	水門等97施設	
ダム	35基	○ H24
砂防関連施設	砂防743箇所	○ H23
	急傾斜1,030箇所	
	地すべり130箇所	
公園	5箇所	△ H25
公営住宅	515棟	○ H23

※ ○:「策定済」、△:「策定中」 右の年度は計画策定(予定)年度

「予防保全的手法」とは？

定期点検で的確な保全措置を行うことにより、故障等の発生を未然に防止すること。この予防保全の実施により、効率的かつ経済的なインフラの長寿命化が可能となる。

2 トンネルの維持管理

問合せ先 道路維持課

長崎県が管理するトンネル128本について、平成23年3月に策定した「長崎県トンネル維持管理計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、トンネルの長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



長崎県においては、「トンネル維持管理計画」に基づき、県管理トンネル128本のうち、補修が必要と判断された53本について平成26年度までに対策を完了します。

また、定期点検により、トンネルの状態を的確に把握し、適切な維持管理を行います。

〈個別事業の紹介〉 主要地方道木坂佐賀線対馬市峰町木坂（木坂トンネル）



補修前



補修後

3 橋梁の維持管理

問合せ先 道路維持課

長崎県が管理する15m以上の橋梁731橋について、平成20年3月に策定した「長崎県橋梁長寿命化修繕計画」により、効率的な維持管理・補修工事を行い、橋梁の長寿命化と維持管理コストの平準化・最小化を目指します。



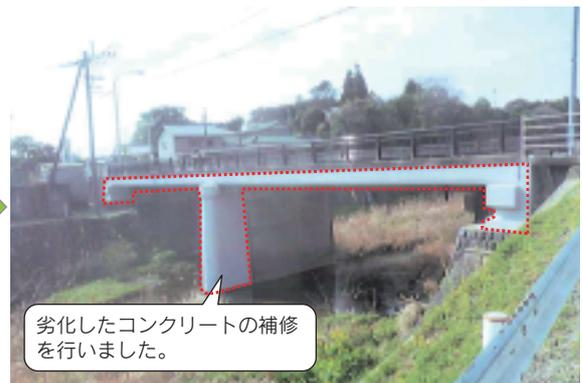
長崎県においては、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、補修が必要な133橋を平成27年度までに完了します。

また、定期点検により、橋梁の状態を的確に把握し、適切な維持管理を行います。

〈個別事業の紹介〉 主要地方道佐世保嬉野線東彼杵郡波佐見町（鹿山橋）



補修前



補修後